

# 令和3年度（2021年度） 学校説明会



下校の見守りや生活科（昔あそび）の学習でお世話になる  
にこにこ会の皆さんと「はじめまして」のご挨拶をする1年生

## <目次>

1. 学校教育目標について
2. 学校グランドデザインと教育課程について
3. 職員紹介
4. 子どもたちにつけたい力について
5. 子どもたちの安心・安全のために
6. 児童会の取り組み

令和3年4月30日（金）14：40～  
川崎市立梶ヶ谷小学校 体育館

みんなが笑顔 学校って 楽しいな! 梶ヶ谷の町 大好き

学校教育目標

自ら学び 自ら考え  
心ゆたかに  
たくましく生きる子

学校経営方針

- ・子どもの知的好奇心をかきたて、育てる資質・能力を明確にした授業をつくる。
- ・一人ひとりのよさを引き出し、可能性を高めていく。
- ・子どもが将来、社会のなかでよりよく生きるために、地域と共に歩む学校をつくる。

めざす子どもの姿

- ・よく考え、対話を通して学びを深め、学びを楽しむ子
- ・互いのよさを認め、思いやりと感謝の心をもつ子
- ・進んで取り組み、自分を表現し、共に育つ子

重点目標

<聴いて 考えて 自分の言葉で表現しよう>

主体的に学ぶ子ども（自立）

わくわく学ぶ

- ◎自らの考えを相手に伝え、相手の考えを受け止め、さらに発信する学習展開
- ・「わかった」「そういうことか」「楽しい!」と思える学習
- ・子どもが学習を展開する授業の実現
- ◎児童理解とその情報を生かした学習
- ・個に応じた場と目標設定
- ・ノートづくりに力点を
- ◎対話的な学びで思いや考えを深めさせる学習
- ・異なる考えを生かした授業展開
- ・「わからない」からスタートの学習

共に支え合う子ども（協働）

わいわい学ぶ

- ◎言葉でかかわり合う子ども
- ・笑顔で挨拶、元気な返事、「ありがとう」
- ・あたたかい言葉が生まれる学級づくり
- ・「あたたかい聴き方・やさしい話し方」
- ◎人を大切にする取組
- ・名字に「さん」で対等の関係をつくる
- ・他者の存在を意識し、人の役に立つことに喜び、支えられていることに感謝する
- ◎自他のよさを見出し、自己肯定感を高める取組

自分から行動する子ども（創造）

- ◎言葉を交わしながら「自分たちが学校をつくる」意識を育てる
- ・自分の考えをもたせて話し合い
- ・児童会からの発信、子どもの発想からの取組の推進
- ◎地域・学校の一員という自覚をもつ
- ・関わりを通して、気づく・学ぶ・発信する取組
- ◎自分の命は自分で守る取組
- ・安全・安心な学校生活を送れるような環境整備と体制づくり

重点にかかる具体的な取組

- ・一人ひとりが自分らしさを発揮できる教室をつくる。
- ・対話を通して学ぶ、他者から学ぶ授業の土台づくり。
- ・見通しと振り返りで主体的に取り組めるカリキュラムマネジメントと校内研究に取り組む。
- ・3つの資質・能力を身につけさせる教師の授業力向上を図る。
- ・人的・物的資源を効果的に活用した地域学習を行う。

- ・自分の考えをもち豊かに表現するために語彙を増やし言語感覚を磨く。
- ・読書活動の充実で豊かな心を育む。
- ・異学年交流の学び合いでかかわる力を育て、なりたい自分を見つける等のキャリア在り方生き方教育を推進する。
- ・人権尊重教育といじめを起こさせない取組（いじめノックアウト宣言等）の推進。
- ・子どものかかわり合う姿を、学校教育推進会議、学校学年だより、学校ホームページ等で、発信していく。

- ・協力して活動することで目標達成の成就感を味わわせる。
- ・実行委員制を活用し、発想力、創造力をつける。
- ・学校行事・委員会活動では子どもの思いを認め、生かし、主体的活動の手助けと事前の指導を行う。
- ・子どもが自ら危険から身を守る防災・防犯意識を高める教育、情報機器から子どもを守る情報モラル教育を推進。

# 「学校教育目標」と「令和3年度重点目標」に向けて

学校教育目標                    自ら学び 自ら考え 心ゆたかに たくましく生きる子  
 令和3年度重点目標        主体的に学ぶ子ども 共に支えあう子ども 自分から行動する子ども  
 ～ みんなが笑顔 学校って楽しいな！ 梶ヶ谷の町 大好き ～

## 豊かな人間性

- ・互いのよさを認め大切にする
- ・思いやりと感謝の心をもつ
- ・進んで取り組み、自分を表現し、共に育つ
- ・チャレンジし、最後までやりぬく

## 健康・体力

- ・自己管理・生活管理ができる
- ・運動に親しみ、丈夫な体をつくる
- ・基本的な生活習慣を身に付ける（登校時間を守り、手洗い・消毒の習慣をつける）

## 資質・能力の育成

### 何ができるようになるか

#### ○学校教育の基本

- ・主体的に学ぶ（自分の考えを相手に伝える。相手の考えを受け止める。）
- ・互いの良さを認め合い、温かな言葉で関わり合う。
- ・物事を自分事としてとらえ、自分から行動する。

### 何が身に付いたか

#### ○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・考えを比べて共感したり、違いに気付いたりしながら自分の考えを深める力
- ・相手の気持ちになって考えたり、話し合いで解決したりする力
- ・前向きに物事をとらえ自分から行動する力

### 子どもの実態

- ・自分の考えや思いを持てる。
- ・ペアやグループでの学び合いができる。
- ・指示で動くことはできるので、さらに主体的に行動できるとよい。

### 子供の発達をどのように支援するか

#### ○配慮を必要とする子供への指導

- ・児童理解とそれに基づいた学びの支援
- ・COを中心とした支援体制の充実
- ・一人一人の教育的ニーズの把握と支援
- ・きめ細やかな配慮と指導の充実

### めざす子どもの姿

- ・よく考え、対話を通して学びを深め、学びを楽しむ子
- ・互いのよさを認め、思いやりと感謝の心をもつ子
- ・進んで取り組み、自分を表現し、共に育つ子

### 何を学ぶか

#### ○教育課程の編成

- ・言語能力、情報活用能力の育成
- ・他教科と連携し、地域素材、人材を生かした指導計画
- ・年間を見通したカリキュラム作り
- ・各教科等の特質に応じた見方・考え方を学びの過程の中で働かせる

### どのように学ぶか

#### ○教育課程の実施

- ・「あたたかな聴き方・やさしい話し方」を基盤とする協働的な学びのスタンダードの実践
- ・「ひと、もの、こと」と関わりあい、その学習でつけた力を児童が見通し、そのふりかえりをしながら進める学習
- ・「主体的・対話的で深い学び」の展開（子どもが学習をつくる）
- ・GIGA スクール構想に基づく、端末を活用した既習や他者につながる学びの実践。

### 実施するために何が必要か

#### ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・授業改善と研究推進    ・校内研修の充実    ・TT、少人数、交換授業の活用    ・家庭自主学習の推進    ・配信メールの活用
- ・地域・保護者との連携    ・子どもを支援するための外部機関との情報共有    ・ICTを活用した学習の工夫
- ・地域素材、人材を生かした授業づくりの推進と連携    ・梶ヶ谷小生活のスタンダードの共通理解

### 安心・安全を守る

- ・環境、体制づくり（アレルギー対応含む）
- ・人権教育の推進といじめを起こさない取り組み
- ・自分の命は自分で守る取り組み    ・感染症対策の工夫
- ・防災、防犯、情報モラル教育の推進    ・配信メールの活用

### 開かれた学校作り

- ・学校だより等による情報発信    ・学校ホームページの充実
- ・学校教育推進会議による目標等の共有
- ・地域との連携、各種行事への参加
- ・懇談会、オープンスクール等での子どもの育ちの共有

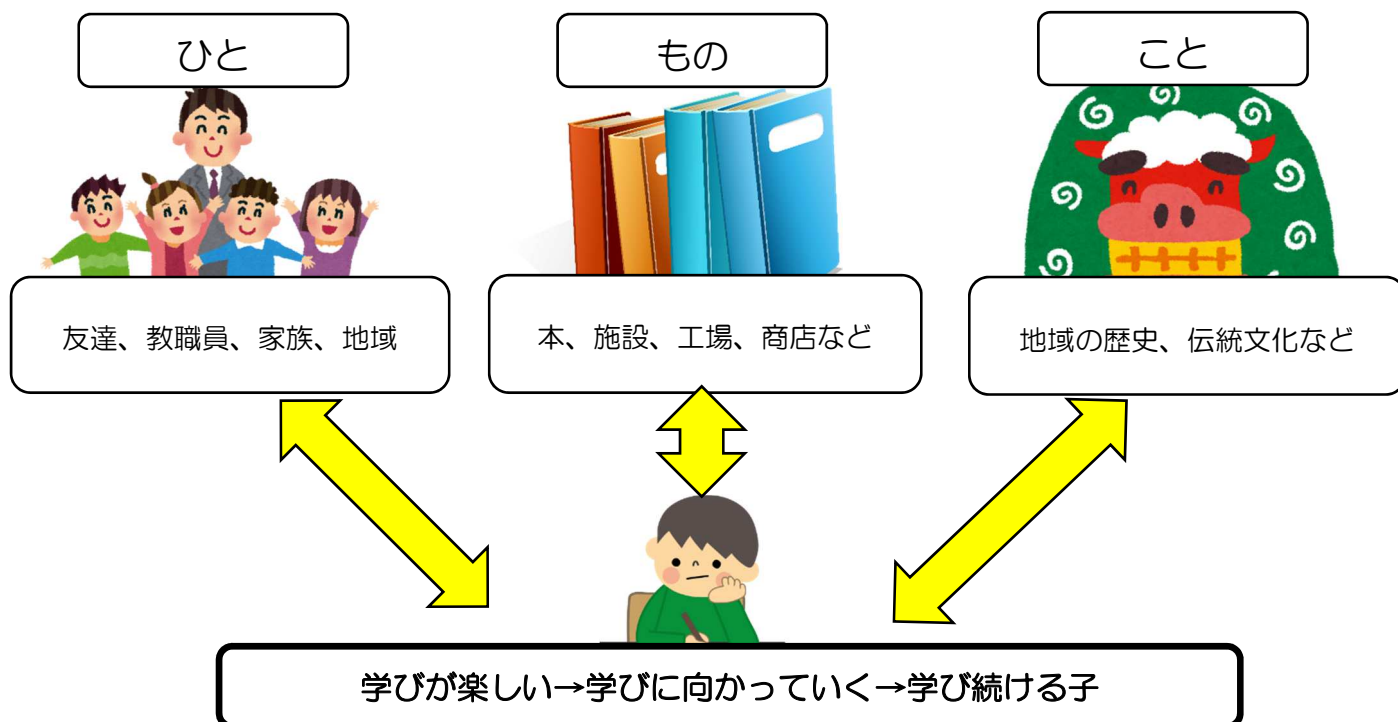
令和3年度 日課時程表

A時程	月	火	水	木	金	K時程	B時程	給食あり	給食なし
8:30	全校読書	朝会	学級タイム	ことばタイム	学級タイム		8:30	A時程の曜日に準ずる	
8:45	1	1	1	1	1		8:45	1	1
9:30	2	2	2	2	2		9:30	2	2
10:15	休み時間		(水)は 右B時程参照	休み時間			10:15	休み時間	
10:45	3	3	3	3	3		10:30	3	3
11:30	4	4	4	4	4		11:15	4	4
12:15	給食		(水)は 右B時程参照	給食			12:00	給食	
13:00	清掃			清掃			12:45	12:00~12:10 給食なし下校	
13:15							13:00	ごみ拾い 帰りの会	
13:20	13:20 5校時開始	梶ヶ谷タイム (Kタイム)	5	13:20 Kタイム開始 Kタイム	5		13:45	5	
14:05	14:05 5校時終了			13:35 5校時開始			14:30	6	
14:15	帰りの会 14:15下校	5	(水)は 右B時程参照	5	5			13:00下校	
14:20	移動							13:00下校	
15:15	14:20~ 委員会 45分 ~15:05 下校	14:20~ クラブ 60分 ~15:20	6	14:20 6校時開始	6	6	14:20~14:30	5校時後下校	
15:30	15:15 委員会下校	帰りの会		15:05 6校時終了	帰りの会	帰りの会	15:05~15:15	6校時後下校	
	下校								
	15:30 クラブ下校								

令和3年度 各学年の週時数							
	月	火	水	木	金	計	
1年	5	5	5	5	5	25	4月は4時間Kなし
2年	5	5	5	6	5	26	
3年	5	6	5	6	5	27	
4年	5	6	5	6	6	28	クラブ
5年	6	6	5	6	6	29	クラブ・委員会
6年	6	6	5	6	6	29	クラブ・委員会

## 子どもたちにつけたい力について

<b>校内研究テーマ</b>	ひと・もの・ことと 関わり合いながら学び続ける子
<b>サブテーマ</b>	～他者理解・自己変容する授業づくり～



テーマには、学校で学んだことが、これからの人生につながってほしい、これからの社会がどんなに変化し、予測困難になったとしても自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断して行ってほしいという思いをこめています。「ひと」「もの」「こと」と関わりながら、これからも学び続けていく力を育てていきたいと考えています。学ぶことを楽しみながら、子どもが自分に力がついたら実感できるように3つの視点を大切にしていきます。

### ①子どもが主体的に学ぶために

・見通しとふりかえり

→単元で身に付ける力や学習内容を子ども自身が見通し、ふりかえることで主体的に学習に取り組めるようにしていきます。

### ②学び合えるために

・「あたたかな聴き方・やさしい話し方」

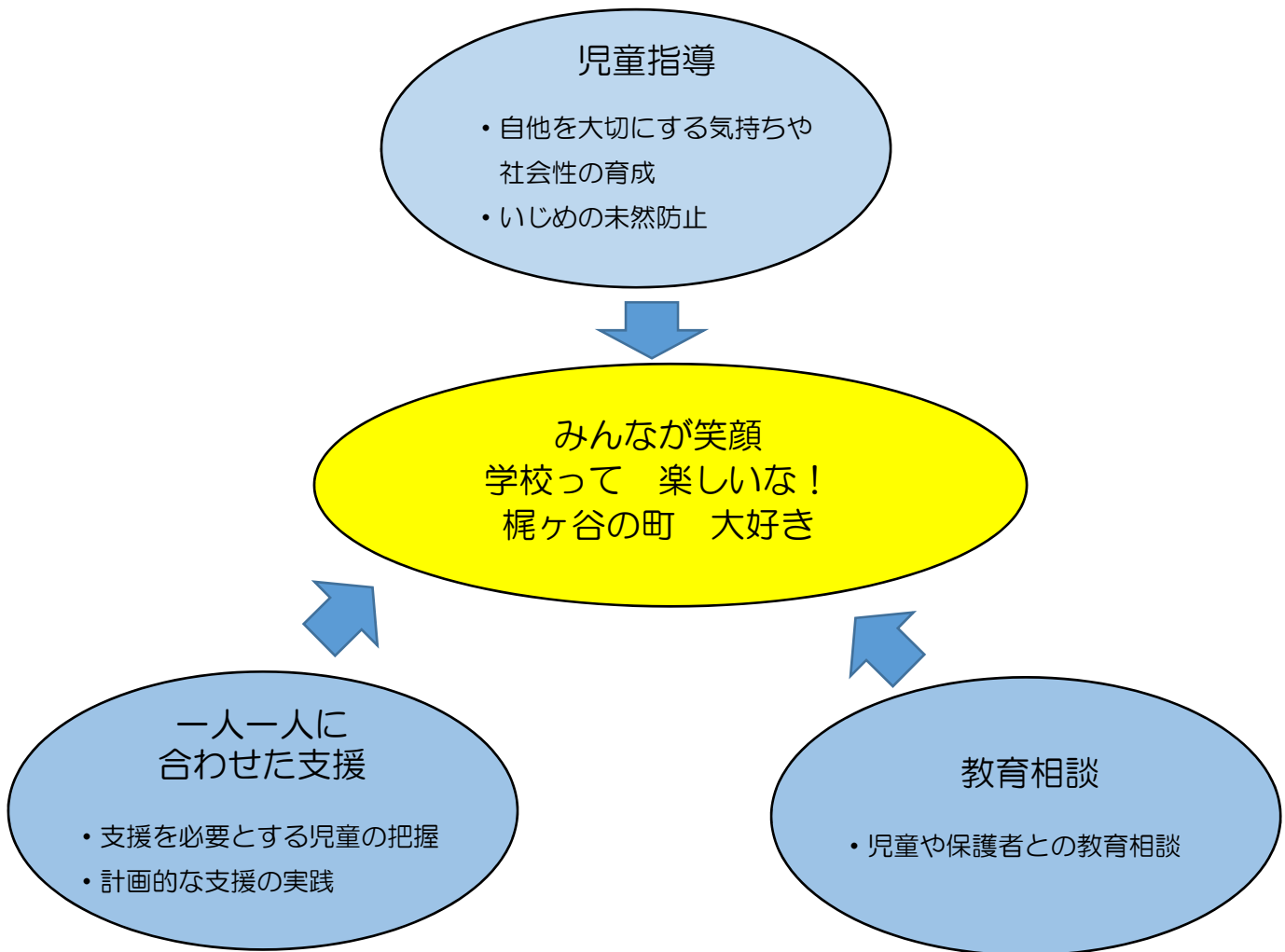
→各学年で各教科を通じて、あたたかな聴き手・やさしい話し手を育み、学び合いを促進しています。

### ③学びを深めるために

・学び方のスタンダード

→1年生から6年生まで、同じ学び方で、学びが深まるようにしていきます。

# 安心・安全について



## 教育相談窓口

梶ヶ谷小学校では、月に一回程度「教育相談日」を設けています。担任やコーディネーターと面談をすることができますので、心配なことや悩んでいることなどがありましたら、面談をお申込みください。事前に連絡をいただくと助かります。

教育相談日でなくても必要に応じてお受けしております。担任やコーディネーターに話したいことがありましたら、お早めにご連絡ください。

☆担当：児童支援コーディネーター なかじま まなみ 中島 真奈美

☆電話：044-877-8621（職員室）平日8：30～17：

（不在の場合でも、伝言を残していただければ、折り返しお電話いたします。）





## 児童会の取組み

児童会では、自分たちの手で、自分たちの力で、どんな学校にしていくかを考えています。  
運営委員会や代表委員会を中心に具体的な取り組みをしていきます。

### 創立50周年のスローガン

**未来へ心をつなげよう 笑顔で進め梶小<sup>GO</sup>号**

このスローガンのもと、梶ヶ谷小学校をよりすてきな学校にするために、  
運営委員会が、舵をとっていきます。

#### こんな学校にしたいな

あいさつをして笑顔が  
いっぱいになりたい。

お互いに助け合えるあ  
たかな学校にしたいな。



50周年を迎えるから、いつも  
以上に楽しさや元気のある学校に  
したいな。

地域にほこれる学校にしたいな。  
みんなの意見を引き出してまとめ  
ていこう。

#### 学校全体で取り組んでいきたいこと

あいさつ

交流

委員会・代表委員会  
の充実

みんなが笑顔あふれる学校に